

ニュースクリップ
News Clip

あ き ひと しょう こう にん
商きない工らす人びと **ふくしま商・工・人**

- P2 経営支援レポート
元気印 ズームアップ
- P4 福島県商工会連合会
第59回通常総会
- P5 青年部・女性部だより
- P6 Information 商工会だより
- P8 掲示板

2019.7.1
Vol. 385



P2に掲載

捨てると活かすを丁寧に！
上手にお片付け
「リサイクルでかたづけ隊」
富久山町・陣野商店



P3に掲載

刺身をくunchえ！
地域に愛される飲食店の再開
檜葉町・海・鮮・料理よしだ



元気印

経営支援レポート

ズーム

アップ

県内2地域の商工会からがんばっている会員企業をご紹介します。みなさんの経営のヒントになるお話もたくさんいただきました。是非、ご感想を福島県商工会連合会までEメールにてお寄せください。(f-wing@do-fukushima.or.jp)

浜通り 橋葉町商工会

刺身をくunchえ! 地域に愛される飲食店の再開



海・鮮・料理よしだ 代表 吉田 晃氏

住所 〒979-0603 双葉郡橋葉町大字井出字木屋126番地の1
連絡先 TEL・FAX 0240-25-2253
営業時間 11:00~14:00
定休日 日曜日、第1、3月曜日、祝日

【事業所紹介】

昭和44年に先代の吉田達男がJR竜田駅前に「吉田魚店」を創業。鮮魚店を切り盛りする傍ら、海鮮料理を中心とした飲食店「お食事処よしだ」を営み、ランチの天井や刺身定食が好評を博し、夜は美味しい料理に舌鼓を打ちながら交流できる「地域に愛された飲食店」でした。

震災後は避難を余儀なくされ一時休業しましたが、地元鮮魚店と共同経営で平成23年10月にいわき市で仮設店舗「くunchえ広場」を開店し、避難した住民の利便性向上とコミュニティ機能の再建に寄与しました。仮設住宅団地の期間満了に伴い平成30年3月10日に閉店してからは、地元橋葉町で飲食店を再開することを決意し店舗デザインやメニュー構成などを綿密に計画しました。



令和元年5月30日(大安)に「海・鮮・料理よしだ」をオープン。美味しい魚と非日常が体感できる空間を提供し、再び愛される店舗を目指しています。

【経営方針】

太平洋に面した橋葉町は海の幸に加えて、町を流れる木戸川のサケやアユが特産である等、魚は生活の中で身近なものでした。しかし、サケの遡上は回復傾向にあるもののアユは放射線量の影響で未だ禁漁が続いています。

「町内外のみなさんに新鮮で美味しい魚介類を味わってもらい、ふるさとの復興に貢献したい。」と決意し海鮮料理店を再開しました。刺身定食や海鮮丼はもちろんのこと、ランチで人気だった天井や唐揚げ定食も復活させました。震災前の橋葉町を思い出してもらい、これからの復興に向けた一助となるよう事業に取り組んでいます。

【商工会との関係性と支援内容】

休業を余儀なくされ避難先で途方に暮れていた時に、今後の事業について真っ先に相談したのが商工会でした。営業損害賠償の手続きや資金繰り、仮設店舗「くunchえ広場」での再開等、その都度相談を重ねて課題を一つ一つ解決してきました。20年前に青年部長を務めていたことや記帳代行を依頼していたことから、商工会は常に隣にいる存在です。

今回の飲食店再開にあたり、専門家派遣事業を活用して店舗デザインのアドバイスを受け、入店しやすく居心地の良い店づくりができました。損壊・汚損してしまった店舗の建て替えや設備入れ替えにかかる莫大な経費は、福島県原子力被災事業者事業再開等支援補助金を活用して、自己資金が4分の1となり負担が大幅に軽減しました。補助金交付申請書や資金繰り計画の作成について商工会と密に相談したことで、補助金交付が採択され新たな一歩を踏み出すことが



できました。メニュー構成や売上目標設定等、ともに悩んで話し合い解決策に向けて伴走してくれる商工会は、「なくてはならない存在」です。

【今後の目標】

橋上駅舎の新築中であるJR竜田駅周辺のにぎわいを取り戻すことが目標です。季節ごとに旬の美味しい海鮮料理を提供し、地域から愛される店舗として営業を続けていきたいです。



県中・県南 富久山町商工会

捨てるも活かすを丁寧に! 上手にお片付け「リサイクルでかたづけ隊」



陣野商店 代表 陣野 重直氏

住所 〒963-8061 郡山市富久山町福原字鶴番30-1
連絡先 TEL 024-983-3260 FAX 024-983-3261
営業時間 8:00~17:00
URL http://jinno-syouten.com/

【事業所紹介】

当社は、創業67年の再生資源回収卸売業です。空き瓶が主で、回収した酒瓶は酒蔵などへ納めています。他にも古紙、鉄、非鉄などあらゆる資源の回収を行っています。BtoBの取引が主でしたが、3年前の事務所移転をきっかけに日常に出る資源を回収できる24時間受入れ可能な「エコBOX」を設置したことで、一般個人の方に気軽に来ていただく機会が増え、当社の認知度が上がりました。エコBOXとは、古着や新聞、雑誌、シュレッダー紙やアルミ缶、スチール缶など、生活する上で出る資源を24時間無料でセルフ回収するBOXです。ライフスタイルに合わせて好きな時間に利用できるこ



とで好評を得ています。ここ数年は、資源回収・リサイクルを主眼に置き、「暮らしの困った」を考え事業を展開しています。2年前からは片付け業務を開始しました。「捨てるも活かすを丁寧に!リサイクルでかたづけ隊」を始めるにあたって、遺品整理士の資格を取得しましたが、遺品整理の依頼よりも、「元気なうちの終活片付け」「高齢になって大きな荷物を運べない」など、家庭や事務所、店舗や空き家など、想定外の所からお問い合わせを頂くことも増えました。また、当社では、資源回収の実績を活かして、片付けの際に出る不用品を廃棄と買取りに分けたお片付けができ、環境にもお財布にも優しい片付け提案ができます。こういった取り組みの中で、社会のニーズをダイレクトにキャッチできるので、新しいサービスが次々と湧いてくる感じがすると同時に、需要は意外と幅広いことを実感しています。今後も資源回収の可能性に注目し、家族・従業員一同さらにチャレンジを続けてまいります。

【商工会の支援内容】

きっかけは、福島第一原発事故の影響による相談でした。まず始めに回収品目や粗利などを個別に整理したことで、酒瓶回収の実態や、瓶以外のあらゆる資源を回収できる強みに注目することができました。これを紙に落とし込み可視化したことが、事業を正面から見直すきっかけとなったとおっしゃっていました。数値目標や経営目標の設定を行い、課題解決に向けた専門家派遣制度の活用、広域事業「売上利益アップ塾」などにも参加していただきました。また、持続化補助金を活用し「かたづけ隊」を宣伝するための看板設置やホームページ作成・チラシ作成を行うほか、経営革新にもチャレンジされ承認されるなど着実に経営に取り組んでいらっしゃいます。今後は、昨年からの息子さんも事業に携わることになりましたので、近い将来の事業承継も視野に入れ、支援をしていきたいと思ひます。

かたづけ隊にできること

Grid of 4 images with text: 高齢者様向けお片づけ, 遺品整理と生前整理, 事業所様向けお片づけ, 遠方にお住まいの方の東家のお片づけ

ふくしまの商工業の再生を目指して

第五十九回
通常総会

去る五月二十四日、福島市「リッツェンハム」において第五十九回福島県商工会連合会通常総会を開催した。総会では、席上、商工貯蓄共済並びに優良商工会等の表彰を行い、続いて来賓の内堀知事、吉田真議会議長が祝辞を述べた。議事では、重点事業として引き続き商工会の広域的な連携強化事業として地域の商工会・会員の事業者の再生・再建の支援をするためのマンパワーの不足を補うため、復興経営指導員、復興支援員等の設置や、風評被害払拭のため、安全・安心な県産品のPRとともに、近年増加している外国人観光客、いわゆる「インバウンド」による新たな需要喚起に応じた販売促進、販路開拓支援、また、商工会・広域連携協議会・県連における組織基盤と経営支援体制の強化とともに、様々な環境変化に対応させるべく、「新商工会アカクシヨンプラン」の推進と実行支援、そして、本県の中企業・小規模企業振興基本条例に基づいた新たな経営支援事業「ふくしま小規模企業者等いきいき支援事業」の実施などを盛り込んだ、令和元年度の事業計画を決定した。また、役員欠員に伴う補充選任では、石本健専務理事、渡辺隆治理事の両名が選任された。



令和元年度 事業計画重点事項

- 一、東日本大震災・原発事故の被災中小企業・小規模事業者に対する商工会組織を挙げた支援の強化
- 1 東日本大震災及び原発事故に伴う中小企業・小規模事業者の再生・再建と避難地域商工会機能の回復・強化への支援
 - 2 被災商工会等の復興ビジョンに基づく事業の実施
 - 3 中小企業震災復興・原子力災害対策経営支援センター福島との連携
 - 4 原子力損害賠償の完全実施への支援
 - 5 被災商工会に対する商工会組織を挙げた支援の実施
- 二、原発事故による風評被害払拭と消費拡大に向けた取り組みの強化
- 1 風評払拭・インバウンド対策支援事業
 - 2 福島県首都圏情報発信拠点アンテナショップ戦略事業
 - 3 ふくしまの新たな商品開発に向けた支援事業
 - 4 通信販売頒布会支援事業
 - 5 福島県産品・加工食品放射能検査支援
 - 6 福島県中小企業者復興支援事業（復興支援員の設置）
 - 7 事業者情報発信支援の強化

三、小規模事業者の経営計画策定に向けた支援強化

- 1 伴走型経営支援の推進
 - 2 経営発達支援計画認定後の実行支援
 - 3 経営発達支援計画の認定の推進
- 四、中小企業・小規模事業者支援対策の拡充強化
- 1 小規模企業振興条例制定の推進
 - 2 事業承継支援への取組みの強化
 - 3 提案型の経営支援・巡回訪問の推進強化
 - 4 小規模事業者の持続的な経営に向けた支援の推進
 - 5 消費増税・軽減税率導入に向けた事業者支援体制の強化
 - 6 キャッシュレス決済等の導入推進
 - 7 6次産業化事業の推進について
 - 8 「働き方改革」・生産性向上への対応のための支援強化
 - 9 経営支援事例の共有とノウハウの蓄積による伴走型経営支援の推進
 - 10 中小企業・小規模事業者に対する金融支援の強化
 - 11 中小企業・小規模事業者に対する事業継続計画（BCP）策定支援
 - 12 中小企業・小規模事業者に対する支援機関連携による経営支援
- 五、商工会の経営支援体制の機能強化
- 「新商工会アカクシヨンプラン」の推進と実行支援
- 1 商工会の組織基盤の強化
 - 2 商工会職員の資質向上対策の推進
 - 3 会員サービスの充実強化
- ◆商工貯蓄共済表彰
- ◆目標達成商工会
- 国見町、保原町、飯野町、三種田町、安積町、富久山町、岩瀬、天栄村、大越町、常葉町、西郷村、中島村、矢野町、鮫川村、北塩原村、西会津町、湯川村、柳津町、広野町、川内村、大

熊町、葛尾村、小川町 平成30年度実施事業 優良商工会等表彰

- ◆事業功績 企業支援部門
- 1 経営革新計画支援（承認件数）
安積町、富久山町、長沼、岩瀬、西郷村、矢野町、南会津町、会津美里町
 - 2 持続化補助金支援（採択件数）
伊達市、熱海町、富久山町、天栄村、石川町、西郷村、矢野町、塙町、北塩原村、会津坂下町
- ◆事業功績 記帳支援部門
- 1 記帳支援事業
保原町
- ◆優良職員
職員資質向上
湯田晋介（玉川村）



青年部 だより

～県青連第52回通常総会開催～

福島県商工会青年部連合会の第52回通常総会が5月9日（木）に福島市「ウェディングエルティ」にて開催され、多数の青年部員に参加頂きました。



顕彰受賞者（人、ネットワーク、まち）

河治徹会長挨拶の後、福島県商工会青年部員顕彰として、人（ヒューマン）づくり部門、ネットワークづくり部門、まち（地域）づくり部門、感謝状の個人8名と1団体の顕彰が行われました。

その後、佐藤宗太郎長（会津坂下町）が議長となって議案審議に入り、提出された全議案が可決承認されました。第4号議案では任期満了に伴う役員選任が審議され、下記の通り新役員23名が選任されました。

今年度の事業計画では、組織の拡充強化を図るための部員増強運動推進や、今年で8回目となる「商工会うまいもんNo.1決定戦」の開催等が承認されました。さらに東北六県・北海道商工会青年部員研修会が今年8月に郡山市で開催予定であることが説明されました。

【第26期福島県商工会青年部連合会役員】

- 会長 渡辺 隆治（船引町）
- 副会長 齋藤 仁志（国見町）、星 浩章（塙町）、小林 悠介（会津坂下町）、田河 朋裕（浪江町）、鈴木 秀典（三和町）
- 理事 川島 弘靖（田村町）、菅野 昭則（川俣町）、水口 泉太郎（保原町）、山川 大介（富久山町）、黒田 大輔（西田町）、石塚 裕一（浅川町）、高橋 公助（都路町）、草野 好広（西郷村）、深谷 洋平（矢野町）、瀧美 慎司（猪苗代町）、柴崎 一成（南会津町）、木村 信一（会津美里町）、玉川 陣（小高）、浅野 直登（内郷）
- 監事 樽井 良（あだたら）、遠藤 篤（長沼）、飯塚 幸知（きたかた）



会長挨拶



新役員紹介

女性部 だより

商工会女性部トップセミナー・第52回通常総会開催される

第52回県商工会女性部連合会通常総会は、令和元年5月14日～15日、北塩原村「裏磐梯レイクリゾート 五色の森」にて開催され、内堀県知事をはじめ、ご来賓を迎え、県内88商工会から221名の女性部長・部員が参加しました。通常総会では、植木和子部長（松川町）が議長となり第1号議案から第4号議案までが原案通り可決承認されました。



主張発表者

併せて総会の席上において、昨年度新規部員の加入数が優れていた3女性部、及び女性部カード契約数が優れていた3女性部に対しそれぞれ表彰及び報奨金として目録の授与を行いました。



二瓶会長と退任役員

「女性部トップセミナー」では、「女性部活動と地域振興・まちづくり～花火の里 浅川町の魅力～」というテーマで発表した、県中地区代表・浅川町商工会女性部 副部長 渡辺成美さんが最優秀賞（県知事賞）に選ばれ、7月2日に吉川屋で行われる東北・北海道ブロック大会への出場を決めました。

平成30年度新規部員加入実績	平成30年度女性部カード契約実績
第1位 双葉町商工会女性部 8名	第1位 西会津町商工会女性部 3件
第2位 安積町商工会女性部 6名	第2位 安積町商工会女性部 1件
第3位 好間町商工会女性部 4名	第2位 北塩原村商工会女性部 1件



会長挨拶

県女性連新役員

- | | | | |
|-----|--------|-------|---|
| 会長 | 二瓶恵美子 | 滝根町 | |
| 副会長 | 渡辺 富子 | 矢野町 | |
| | 鈴木 礼子 | 内郷 | |
| | 齋藤 光子 | 伊達市 | 新 |
| | 山本千代子 | 大熊町 | 新 |
| | 佐藤 順子 | 只見町 | |
| 理事 | 佐久間信子 | 飯野町 | |
| | 島田 恵美 | 飯坂町 | |
| | 植木 和子 | 松川町 | 新 |
| | 鈴木真理子 | 玉川村 | |
| | 厚海 知子 | 西田町 | 新 |
| | 八木沼とし子 | 長沼 | |
| | 吉田ヤス子 | 船引町 | 新 |
| | 熊倉 うめ | 中島村 | |
| | 宗田 純子 | 鮫川村 | 新 |
| | 目黒留美子 | 会津坂下町 | |
| | 渡部 秋子 | 金山町 | 新 |
| | 佐賀 彰子 | 猪苗代町 | 新 |
| | 沼澤 悦子 | 柳津町 | 新 |
| | 三瓶 幸子 | 富岡町 | |
| | 小林 友子 | 小高 | 新 |
| | 瀬谷 光子 | 田人町 | |
| 監事 | 渡部由美子 | 北塩原村 | |
- ※理事・監事地区順
監事1名欠員

経営支援強化と積極的な地域振興事業を展開



国見町商工会の渡辺勝弘です。国見町は、福島県の最北端に位置し、北は宮城県白石市と接しています。東は阿武隈川を挟んで梁川町、南は桑折町と隣接し、信達盆地の肥沃な土地に恵まれた町となっています。

また、県都福島市まで十六・五kmの距離にあり、南北に東北本線藤田駅・貝田駅の二つの駅と東北自動車道の国見インターチェンジを有し、国道四号線も通っており交通の便に恵まれております。

交通の要所

歴史的に見ても国見町は、藤田宿の「宿場町」であり、藤田城の「街道町」として商業が発展し、鹿島神社の「鳥居前町」などの側面を持っています。

このように、交通の要所としての歴史をもつ国見町に、平成二十九年五月二日、国道四号線沿いに道の駅国見あつかしの郷がオープン致しました。

道の駅では、国見町商工会青年部が新商品として開発した「国見パーカー」をはじめとした町内外の産品

を販売しており、平成三十年年度には商工会女性部が製造、販売を行うEM石けんも販売が始まり、来場者に徐々に浸透しつつあります。



道の駅

経営発達支援計画

平成二十九年年度より、桑折町商工会・川俣町商工会との広域連携で経営発達支援計画に取り組み、会員事業所の経営に直結する販路開拓消費者動向調査、各種セミナーの開催を実施し、経営支援を強化しております。

今後事業成果を上げるため、事業評価委員会による反省を踏まえ、より効果的な取り組みを目指します。

小規模企業振興基本条例

また、町内企業の大半を占める小規模企業の位置づけと支援を明確にするための「小規模企業振興基本条例」を町に策定していただけたこと、推進委員会を設置し、先進地視察や立石裕明氏を講師に招いた講

習会を実施しました。講習会には多くの町議員の出席をいただくなど活動を続け、平成三十年度には制定に向けての要望をいたしました。



特別講演会「小規模企業振興基本条例」

農工商連携

これからの商工会は工業、商業に加え農業といったキーワードも重要になると考え、若手農業経営者を交えた農工商連携会議を開催しております。平成二十九年には県の観光アドバイザー制度を利用し、専門家を招いた会議へと発展致しました。

この会議の中から、「923夕暮れマルシェ」が生まれ、道の駅や町内の各種イベントに町内産品をPR、販売しております。

地域振興事業

地域振興事業では、商工会が主催する四月の桜のライトアップ、五月の農業市、七月の夏まつり、十二月のだるま市に加え、町が主催する九月の義経まつり、十月の産業

祭及びライトアップ事業、十二月のあつかし山ビッグツリー点灯式へは、企画段階から参加協力し、積極的な地域振興事業を展開しております。



夏まつり

中でも商工会青年部が主管する夏まつりでは、「国見まるごと再発見」として、商業部会が開催する商店街の七夕飾りと共に賑わいを創出してまいります。

産業祭では、工業部会が子供たちを対象としたゲームを開催し、好評を博しております。

こうした各事業に欠かせないのが、青年部のOB会で、事業への協力だけではなく、主催する事業もあり、商工会をバックアップしていただいております。

Information 商工会だより

地域の資源を生かした、魅力あるまちづくりを目指して



西会津町商工会の青木義時です。

西会津町は会津地方の西北に位置し、東は喜多方市と接し、北及び西は新潟県阿賀町との県境にあり、昔は新潟と福島を結ぶ越後街道の主要な宿場町として栄え、独自の文化が生まれました。当町は、町の中心を東西に国道四十九号が通り「磐越道西会津インター」を有し、その利便性から「道の駅」にしていづ・交流物産館より「せせ」が整備され、会津地方の特産品や民芸品等を取り揃えています。県内外から年間約七十万人が訪れる県内でも入客数の多い道の駅であり、その一階に商工会事務所があります。事務所内も活気のある施設に負けず劣らず明るく元気の霽雨気候でございます。

また、西会津町は古くから「会津の霊地の里」として有名です。野沢の山の神様「大山祇神社」があり、「主二度、なまじよなごんな願ひも聞きなごる」といわれることでも知られております。また、会津三つ観音の「鳥追観音如法寺」も広く知られております。



西会津 なつかしCarショー 2019



冬の風物詩「野沢初市」

なつかしCarショーが開催され今では東日本最大級のイベントになり、町の地域活性化に繋がっております。



西会津にぎわいまつり 2018 フォルクスワーゲン in 越後街道野澤宿

昨年、商工会の一大イベントである「西会津にぎわいまつり 二〇一八フォルクスワーゲン in 越後街道野澤宿」を開催しました。原発事故による風評被害からの脱却をはかるため、町の元気や安全をPRしました。県内外から多く参加者を募り、昔懐かしいフォルクスワーゲンを一堂に展示することで、時代がタイムスリップしたようなイベントとなり、交流人口の増加と西会津ファンづくりによる商店街活性化に繋がりました。

また、昨年度よりあらたな地域商店街の賑わい創出のため「野沢初市」を企画し、年末年始の大売出しや大抽選会を開催しました。当日は多くの露店等が立ち並び、地元の大山さゆり太鼓が会場の雰囲気を盛り上げました。福まき、大抽選会では、大行列となり当りが出るたびに大きな歓声と鐘の音が鳴り響き、新春にふさわしい活気

のあるものとなりました。今後も継続して実施し、商工会をアピールしていきたいと考えています。

ふるさと自慢館「ミニミニ施設」

平成二十一年十月野沢中央通りにあった蔵造の空店舗を商工会が取得し、地域商店街の核となる施設にするため、西会津町の偉人や歴史を紹介、展示し町民のふれあいの場を提供してきました。さらに魅力ある施設を目指して、平成二十七年に国の「地域商業自立促進事業補助金」と町の補助を受け「ミニミニ施設」を新たに建設し、「階は事務所とフリースペースを設け、飲食店としてテナントによる営業活動を行っており、順調な経営を行っています。

施設では町民との「ミニミニ」の場として、ジャズライブや落語独演会、ひな祭りイベント等、様々な企画を実施し町民をはじめ観光客からも喜ばれています。

今後は、町の観光振興の拠点である「道の駅」に訪れる観光客をいかにして「ふるさと自慢館」野沢中央通りに誘導し、中心市街地の活性化を図ることが課題となっております。



西会津には、他に無い観光資源が数多くあることで、地元産の野菜と健康な土「ミネラル分をバランス良く含んだ土壌」で作る野菜を「ミネラル野菜」と呼び、町民の健康づくりの一端を担っています。他で生産する野菜との差別化をはかり、健康素材として広く利用を呼び掛けるため平成二十八年八月に道の駅に「あいつ」に「ミネラル野菜の家」をオープンしました。西会津町で生産される椎茸、きくらげ、米、ミネラル野菜などの食材を使ったレストランや販売ブースを開発し、西会津の味をその場で楽しむことができます。こちらにもオープン以来大勢の観光客に利用いただいております。皆様もぜひ一度、西会津町へお越しください。

ふくしま小規模企業者等 いきいき支援事業

小規模企業者や商店街等の創意工夫ある取組に対し、地域に密着した商工団体が、計画づくりから事業実施後のフォローアップまで一体的な支援を行うとともに、取組に必要な経費の一部を補助します。

1. 事業概要

本事業には、一般枠と商店街枠があります。

	一般枠	商店街枠
補助の対象となる取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 県内の小規模企業者等が行う以下の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・円滑な事業承継 ・創業から3年以内の経営安定化 ・販路開拓及び生産性向上 ・地域コミュニティの向上 	<ul style="list-style-type: none"> ● 商店街組織等が行う、商店街機能の維持や高度化に向けた取組
補助対象者	<ul style="list-style-type: none"> ● 小規模企業者等 <ul style="list-style-type: none"> ・会社及び会社に準ずる営利法人(株式会社、合同会社等) ・個人事業主 ※①複数の小規模企業者等が共同で事業に取り組む場合も対象になります。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 商店街組織等 <ul style="list-style-type: none"> ・任意団体(商店街組織) ・商店街等の活性化を目的とした小規模企業者のグループ 等
補助率等	<ul style="list-style-type: none"> ● 補助率 補助対象経費の2/3以内 ● 補助上限額 30万円 ※①の場合は100万円 	<ul style="list-style-type: none"> ● 補助率 補助対象経費の2/3以内 ● 補助上限額 100万円

2. 補助金の申請時期等

(1) 募集期間

受付開始: 令和元年6月3日(月)～

受付締切: 令和元年7月31日(水)

(2) 申請書類等の提出先

ふくしま小規模企業者等いきいき支援事業補助金事務局

○福島県商工会連合会

〒960-8053 福島県福島市三河南町1番20号 コラッセふくしま9階

電話番号 024-525-3411

(3) 申請に関するお問い合わせ先等

○最寄りの商工会等

対応時間/9:00～12:00、13:00～17:00(土日祝日、年末年始除く)



※事業の内容や申請手続き等の詳細は、

「[ふくしま小規模企業者等いきいき支援事業公募要領](#)」をご覧ください。(一般枠と商店街枠の公募要領があります) また、下記の特設ホームページにおいて情報を掲載(随時更新)しますので、ご覧ください。

[ふくしま小規模企業者等いきいき支援事業ホームページ](#)

福島県 <一般枠> (URL) <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/32011b/>
<商店街枠> (URL) <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/32021d/>

福島県商工会連合会 (URL) <http://www.f.do-fukushima.or.jp/>